

## 鏡で遊ぶ、鏡で作る

学校法人ポーロニア学園 みずき野幼稚園(茨城県守谷市) [3~5歳児]

### 映ること見付ける 3歳児

<逆さまに映ってる>きっかけ…3歳A児が「先生！見て見て！！逆さまに映ってる」と、気付いたことに驚いて、少し興奮気味に話す。

保育者に何が逆さまに映ってるのか聞かれたA児は、「あのね、ほら僕のスプーンに顔が逆さまに映ったんだよ」と、自分の使っていたスプーンの凹面に顔が逆さまに映っていることを話す。A児の気付いたことを聞いた子どもたちが、「僕のも逆さまに映ってる」「私のも映ってる」「ハハハ、面白い」と、自分のスプーンにも逆さまに映ることを確かめると、スプーンを逆さまにしたり裏返したりして、顔を映していた。



<映ってる！見える！>環境…他のクラスから鏡を集めてくる。

スプーンに映ることで、ピアノや水道、椅子などいろいろな物に映ることに興味をもつ。鏡にも興味をもつようになり、鏡に映すと2個になることに気付く。鏡を2枚使い、いろいろな置き方や映し方をして遊ぶ。鏡を2枚使うと、たくさん見えるようになることに気付く。不思議に思ったりいろいろ試したりする。

### 「3歳児の映す遊び」に興味をもち、一緒に遊ぶ 4、5歳児

<複数の鏡を使って楽しむ>環境…保育室の鏡が3歳児の所にある。

3歳児から「1つの物がたくさん見える」という話を聞き、4、5歳児が試すうちに、3枚の鏡で映していた顔が「たくさん映る！」ことに気付く。



<いろいろな映し方>関わりのポイント…年齢に応じた探求

5歳児は、鏡に映っているものが、もう一方の鏡にも映ることや、映っているものが、また映ることで「たくさん見えるんだ」と気付いたり、「こんなふうにすると、遠くが映るね」と、見える数ではない楽しみ方もしたりして、いろいろなことに気付く。



### 万華鏡を作る 3~5歳児

<みんなが食べられる数のケーキ>関わりのポイント…共通の課題  
3歳児が「みんなが食べられる数のケーキにしよう」と試していたがまだできないことを知り、5歳児が相談しながらやってみると、4枚の鏡を使ってケーキをたくさん映すことができた。  
すると、5歳児B児が万華鏡を思い出して作ってみたいと思い、お父さんに材料と作り方を聞いてくる。幼稚園で製作に挑戦する。



<3歳児：本物を見る>  
「万華鏡って何？」と言い、本物の万華鏡を楽しむ。  
5歳児に見方を教わり、4歳児に「回すと模様が変わるよ」等と教わって楽しむ。

<4歳児：5歳児と作る>  
B児の万華鏡や話を手掛かりに、万華鏡を作る。万華鏡の底の部分が空いていると向こう側が見えて模様が見難いことを知り、底にスーパーの袋を付ける。

<5歳児：大きな万華鏡を作る>  
小さな万華鏡を手掛かりに、大きな万華鏡を作る。丸い囲みや底の工夫をする。

<3~5歳児>  
みんなで大きな万華鏡を作ったり、できた万華鏡を見て楽しんだりする。

### みどころ

3歳児がスプーンに映った顔に気付いたことがきっかけになり、3歳児の部屋に鏡を集めたことで、その姿が他の年齢の子どもたちに伝わり、3歳児の姿や鏡に興味をもっています。3、4、5歳児が、互いに関わり合いながらも、年齢に応じた探求を楽しめるので、万華鏡作りに遊びが展開した後も、交流しながら進められています。3歳児なりに、2枚の鏡で面白いことに気付いた話をし、4、5歳児は、3歳児が楽しめることを伝えながら、遊びを展開しています。共通の物や目当てがあるので、言葉で伝え合うかわりでも、相互に受け入れ合い教え合って遊ぶ楽しさが継続しています。